



体操の全国大会出場を報告

11/18 体操競技で熊本県1位の成績を収めた不知火小5年の小細工千華さんが市役所を訪れ、全国大会への出場を市長に報告。小細工さんは「精一杯頑張りたい」と意気込みを語りました。



350億円の事業拠点が開所

11/18 宇城農地整備事業所(九州農政局)の開所式が不知火防災拠点センターで行われました。所員は石丸正一郎所長以下11人。式後は松橋町の事務所に移動し、看板を掲げました。



トップアスリートの技を

11/19 ロンドン五輪陸上100mに出場した江里口匡史さんが松橋高校で講演。体育コースの生徒40人が参加しました。生徒たちは、一緒に体を動かしながら、熱心に聞き入っていました。



松合小で地元との交流事業

11/5 地元の生花店ハナモのなかやましげるさんと生産者の吉村透さんらを講師に、松合小でフラワーアレンジメント体験教室が開かれました。児童たちは花の魅力を再確認しながら、閉校式に飾るための練習に励みました。

11/19 不知火町松合の松合目鑑橋架設200周年を祝い、地元で記念講演などが行われました。また、松合小の児童や地域住民らによって100本以上ものぼり旗が立てられ、お祝いムードを盛り上げていました。



保護司2人に 法務大臣表彰

11/12 熊本保護観察所などによる更生保護に功労のあった個人・団体をたたえる顕彰式が熊本市のくまもと森都心プラザで開催されました。非行少年の更生や地域の犯罪予防に尽力し

た松橋町の真岡昭紘さん(76)と豊野町の赤星友寿さん(73)ら21人に法務大臣表彰が伝達。2人は「保護司は大変だけれど地域のために今後も活動していきたい」と話していました。

ま ち の わ だ い TOPICS



支援に感謝 松谷浩一球磨村長が来庁

11/13 球磨村の松谷浩一^{まつたにこういち}村長(写真左)が市長室を訪れ、7月豪雨で被災した同村の住民に小川町の仮設住宅を避難所として提供した宇城市の対応に対し、感謝の言葉を伝えました。

小川町の仮設住宅には、8月から同村の被災者13世帯25人が

避難。被災者は、球磨村の応急仮設住宅が完成した10月まで利用しました。

松谷村長は「被災者を受け入れていただき大変感謝しています」と述べ、守田憲史市長は「今後も災害時はできるだけのお手伝いをしたい」と応えました。



農林水産大臣から 感謝状を贈呈

11/6 三角町の長見正信^{ながみまさのぶ}さん(72)に、農林水産大臣感謝状が伝達されました。

この感謝状は、毎年10月18日の「統計の日」を記念して、農林水産省が実施する農林水産統計

調査に長年にわたって協力した人に贈られるもの。これまで15年間この調査に協力してきた長見さんは、「20年を目指して頑張りたい」と気持ちを新たにしていました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ふれ愛学習会で手話を学ぶ

10/19・11/4 熊本県手話サークルわかぎ宇城の田中みさ代^{たなか みさよ}さんを講師に、ふれ愛学習会が豊野町コミュニティセンターで開催。参加者は「もっと勉強してみたい」と述べていました。



子育てひろばに絵画を贈呈

11/4 宇城市子育てひろばに、松橋高校家政科の生徒からイラストが贈呈されました。作品は季節ごとの10枚ずつを1年かけて制作。メッセージを添えたスタンプのプレゼントもありました。



くまモンとマコモダケ収穫

11/12 豊野小の3年生33人が特産のマコモダケを収穫しました。毎年、地元の人の指導を受けながら行っています。今年は県教委事業の一環として、くまモンがサプライズ登場しました。